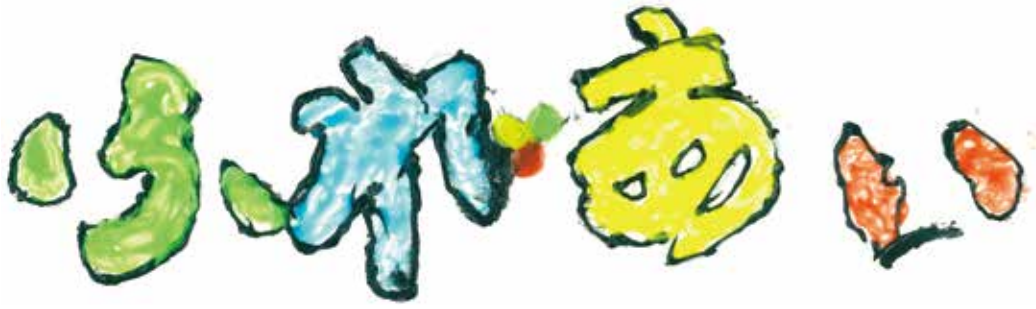




このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し「手」をとりあつて明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。



共同募金

みんなで赤い羽根を

この機関紙は皆様からの社協会費と共同募金の配分を受けて発行しています。

編集・発行

多治見市社会福祉協議会

〒507-0041

多治見市太平町2-39-1

電話 0572(25)1134

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会広報紙 第322号

広げよう 地域に根差した思いやり

全国民生委員児童委員連合会では、5月12日を「民生委員・児童委員の日」とし、5月12日から18日までの1週間、民生委員・児童委員の活動を地域のみなさまに知っていただくための「活動強化週間」としてさまざまな取り組みを進めていくこととしています。多治見市民生児童委員協議会(各務晴夫会長)では、5月15日を中心に市内各地でPR活動を行いました。



207名の民生児童委員のほとんどが参加し、揃いの黄色のベストを着用して、PR用のポケットティッシュを配布し、主任児童委員は市内の保育園や幼稚園で声かけ活動を行いました。

民生児童委員は、児童から高齢者まで、地域住民の立場に立って、さまざまな分野の相談に応じ、助言やサービスの紹介・調整などの支援をします。民生児童委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、これからも活動していきます。

多治見市民生児童協議会

今月の内容

	ページ		ページ
・表紙 広げよう 地域に根差した思いやり	1	・福祉行事の案内	6
・平成25年度事業報告・決算報告	2~3	・寄付報告	7
・子育てサロンの活動紹介	4	・7月の相談日	7
・夏のボランティア体験の募集	5	・ひまわりサロンの活動紹介	8
・子育て支援センター情報	5	・小学校の福祉体験紹介	8

今月の表紙

今月の題字は、滝呂デイサービスセンターの利用者が書きました。



ホームページ

<http://www.t-syakyo.or.jp>



Eメール

info@t-syakyo.or.jp